

# ぶりんぐだより

平成30年度  
第3号



児童発達支援事業所ぶりんぐ  
帯広市東9条南19丁目4-3  
TEL 0155-66-6852  
メールbling@imail.plala.or.jp  
HP <http://office21-obihiro.com/>

初雪の便りも聞かれ、北海道の長い冬がやってきました。  
新しい年を迎えるための準備や学校、幼稚園では2学期のまとめなど忙しい日々をお過ごしのことと思います。  
いよいよ今年もあと1か月。今年最後の月を充実したものにするため、厳しい寒さで風邪などひかないよう、お気を付け下さい。

## 療育雑感 ②

行動療法(応用行動分析)の基本の考え方は

- ①不適応行動は不適切な行動を学んで(誤学習)しまった結果である。
- ②適応的な新しい行動を学べば不適応行動は減少する。
- ③療育は正しい学習の積み重ねである。

という、単純なものでした。

また、

- ④行動療法は科学的な心理学の成果を応用する。
- という基本原則があり、実験によって成果が証明されない方法は使わないというものでした。

子どもの自発的、自主的な行動を受け入れてあげれば、子どもはいつの間にか自分自身の問題を解決し、生き生きとした生活を送るようになるといった受容的遊戯療法とは一線を画す考え方でした。

子どもとの関係作りに行き詰っていた私は、彙にも継る思いで行動療法を子どもの療育に取り入れました。今でも思い出しますが、まずは「●と▲と■の弁別(理解)」の取り組みを子どもに試してみました。

行動療法を言葉のない年長さんの男の子に試してみました。●、▲、■のカードを2組作り、一組を机の上に並べ、提示されたカードと同じカードを選んで手渡すというマッチング(絵合わせ)でした。開始当初の正答率は1/3という偶然の確率でしかないものでした。しかし、毎週続けると正答率は上がりだし、2か月も過ぎると正答率は100%を達成しました。100%の正答を得られた時、その子どものかかわりが初めて持てたという感激でいっぱいでした。言葉が理解できない子どもではありましたが、パズル学習、絵カードのマッチングと順調に学習することができました。この経験が私を治療教育に足を踏み入れさせるきっかけになったのです。担当していたすべての子どもに応用しましたが、どの子にもそれなりの成果を出すことができました。

そうこうしているうちに行動療法を教えてくれた先生の大学病院で自閉症の集団療法を試みるのでボランティアをしないかという誘いを受けました。報酬はないが行動療法の技術をその場で教えてくれるとのことでした。臨床心理を目指す私にとっては授業料を払わずに技術を習得できる千載一遇のチャンスであります。何の迷いもなくボランティアを承諾し、週に1回1時間かけて電車に乗り、病院のある神奈川県伊勢原市に1年間通いました。

次回をお楽しみに。

《犬塚》



1, 3週目利用週  
2, 4週目利用週

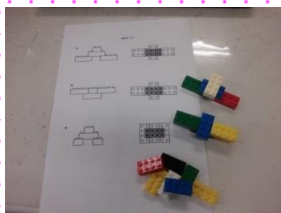
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24 天皇誕生日	25	26	27	28	29 年末年始休み
30	31					



日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14 成人の日	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29 お正月休み	30	31		

## ブロックの課題

## 療育の様子



スタッフが組み立てた見本を見せて、子どもたちが同じように組み立てる課題です。スタッフの指示を聞いて作ること・待つこと・注意力・学習態勢を作ること・色や形の理解・立体的に作ることで空間認知・視覚認知の向上を図ります。組み立てることで手・指先の操作、器用さの向上も図ることができます。

担当する子どもの状態によって、どのポイントを重視して設定するか考慮していますが、一つの課題でたくさんのことを学ぶことができます。

《尾矢》

石丸雪絵指導員が12月31日をもって退職されることとなりました。退職されることは本当に名残り惜しいことですが、ここで経験したことを糧にさらなるご活躍をお祈りいたします。

3年間、ぶりんぐで働くことができ、感謝の気持ちでいっぱいです。

明確な理念と直結した支援はぶりんぐの素晴らしさだと感じながら、仕事ことができました。

また、子どもたちの笑顔、熱心に子どもの話をしてくれたお母さん、志(こころざし)を1つに日々支援している指導員たちは、私の心の支えでもありました。ぶりんぐは十勝で最高の児童発達支援事業所だと思っています。

ここでの経験と教えを私の財産として、心に留めておきたいです。本当にお世話になり、ありがとうございました。

「ほめ上手は、子育て上手ですよ。お母さん子どもの力を信じてくださいね。」応援しています。



石丸雪絵

# ぶりばこQ & A

ぶりんぐ入口付近に設置されたぶりばこにお寄せいただいた質問にお答えするコーナーです！  
些細なものでも構いません、可能な限りお答えしていきますので気軽にご質問ください。

Q ホールでボール遊びをする子がいるのですが、蛍光灯に保護カバーはつけないんですか？

A ご指摘の通りだと思います。蛍光灯の保護カバーの要請を継続して行ってきたいと思います。

Q 信号機。実際は緑色なのに青信号というので、緑と青の名前が定着せずにいます。  
どう教えたらいいのですか？

A 世界的には信号機は赤、黄、緑で統一されており、青信号というのは日本だけだそうです。日本特有の言い方なので色を教える際は、緑信号で教えてあげるとスムーズに覚えられると思います。色の識別がつかようになってから青信号という言い方もあることを伝えるかどうか考えてもいいと思います。



## おしらせ

10月30日(火)に第2回ぶりんぐおべんきょう会が開催されました。

保護者、関係機関の方、スタッフ合わせ16名の参加があり、問題行動とその対応についての講義と質疑応答が行われました。

日常的に起きる事柄を具体的な例を挙げて説明するなど参加者の方は熱心に話を聞いておられました。

次回開催は**1月29日(火)**となっております。開催に際してのご要望等ございましたらスタッフまでお知らせください。

皆様のご参加お待ちしております

## 本の紹介

今回紹介する本は、『自閉症の子どものためのABA基本プログラム2 家庭で無理なく楽しくできるコミュニケーション課題30』です。療育による効果を大きく上げるためには家庭と事業所の両方で、療育的な関わりをすることが大切です。しかしながら、家庭で療育なんて一体どうすればいいの？という方も多いのではないのでしょうか。こちらの本では、家庭での療育の進め方について、とてもわかりやすく説明されています。コミュニケーションの基礎の作り方・ことばの獲得のさせ方などがイラスト付きで具体的に載っています。また、ABAの基本的な知識についても簡単にまとめられており、ABAについて知りたい方にもおすすめできる一冊です。  
《鈴木》

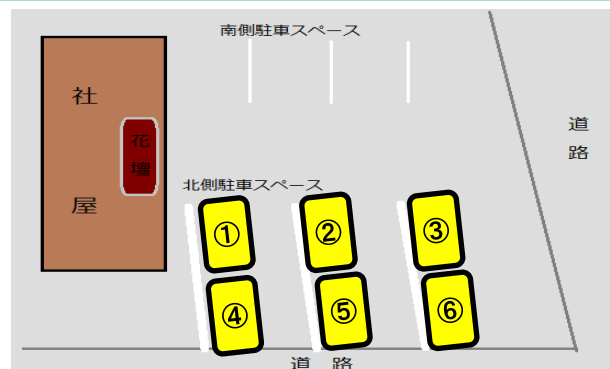


## 駐車についてのお願い

療育時、社屋前駐車場に駐車する際は、社屋北側の駐車スペースの**白線を目印に①～⑥順に縦列での駐車**をお願いいたします。

社屋南側駐車スペースは本社用であるため、北側に空きがない場合など以外はなるべく利用しないようお願いいたします。(図参照)

2階日中一時支援事業の送迎者の出入りなどもございますので、駐車の手方を修正していただくため、お声かけさせていただくこともございますので、ご協力ください。



## おねがい

●福祉サービス受給者証の提出について

次の場合、受給者証を確認します。

### 1. 受給者証の更新

受給者証の更新は1年です。(市・町より更新時期が異なります。誕生日・年度更新か受給者で確認してください)更新時期が近づきましたら、子育て支援課・障がい福祉課で申請手続きをしてください。

新しい受給者証又はシールが届きましたらお持ちください。当事業所との契約内容を記載します！

### 2. 受給者の記載内容が変更になった場合

<受給者証に**新しい内容が記載**になりましたら、すぐお持ちください>

\* 住所が変わった。(特に、市・町→他町に移った時は早めに申出を！)

\* 保護者名が変更になった。

\* 二か所以上の児童発達支援・放課後等デイの事業所を利用し、上限管理事業名が決まった。

上限管理事業所名がぶりんぐ以外でも確認します。

\* 上限限度額が変更になった。

\* 支給量が変更になった。例 5日/月⇒10日/月

